

# 蕨 広報WARABI 12

2025/令和7年  
わらび・906

- 令和7年12月1日発行／発行所・蕨市役所
- 11月1日現在人口：77,218人 前月比 +35人  
世帯数：42,967 人口密度：15,111人／km<sup>2</sup>
- 蕨市の面積 5.11km<sup>2</sup>



～今月の特集～

- 蕨のいま・むかし  
そして未来へ…………… 2
- 蕨エルドラド姉妹都市50周年…10

## 歴史薫る織姫道中

先月3日に開かれた中仙道武州蕨宿  
宿場まつり。今年も華やかな織姫道中  
パレードが祭りを盛り上げました。



今年は「昭和100年」

# 蕨のいま・むかし そして未来へ

**今**年は昭和元年（1926年）から数えてちょうど100年目に当たる年です。関東大震災の復興から始まった昭和の時代は、多くのかたが犠牲となった戦争の時代を経て、戦後の復興、高度経済成長、バブル経済など、まさに激動の時代でした。昭和初期、綿織物業のまちとして知られた蕨は、その後、都心へのアクセスの良さから住宅都市として発展。人口の増加と歩を合わせて、都市基盤を整備し、現在では、人口密度日本一のコンパクトシティとして、また、都心に近い利便性の高さと、コミュニティの豊かさを併せ持つまちとして知られています。

市民の4割近くが平成以降の生まれとなり、昭和を知らない世代も増えていますが、小さくとも魅力輝く蕨の礎には、昭和の時代を生きた人々の努力や創意工夫があります。「昭和100年」のこの機会に、蕨の昔を振り返り、現在、そして飛躍する蕨の明るい未来へ思いをはせましょう。



蕨の近代学校教育の礎を築いた石川直中

1870年頃  
(明治3年)

旧幕臣の石川直中を迎え、蕨郷学校を開校。後身である現在の北小  
学校は県内でも最も古い歴史を持つ小学校の一つ



高橋家の機業について記した「機業由来記」

1826年  
(文政9年)

塚越村の二代目高橋新五郎が質の高い木綿織物・青縞の生産を始めたという。蕨が機織りのまちとして栄えるきっかけとなる

1612年  
(慶長17年)

中山道の江戸から2番目の宿として、蕨宿が成立(年代に諸説あり)

室町時代

足利一門の渋川氏が蕨城を築城(現在の蕨城址公園や和樂備神社の辺り)

蕨の地名が初めて記録に現れる

昭和までの蕨の歩み





1923年  
(大正12年)

1915年  
(大正4年)

1893年  
(明治26年)

1889年  
(明治22年)



関東大震災により被害を受けた第二蕨尋常小学校  
(現在の東小学校)

関東大震災

蕨町章(現在の市章)制定



蕨駅開設に向けては、当時の岡田正康町長らによる設置運動も展開された。写真は、大正4年撮影

蕨駅開設

町村制の施行に伴い、蕨宿と塚越村が合併し蕨町が誕生

# 昭和のはじまり 戦争の時代を超え、 復興・成長する蕨

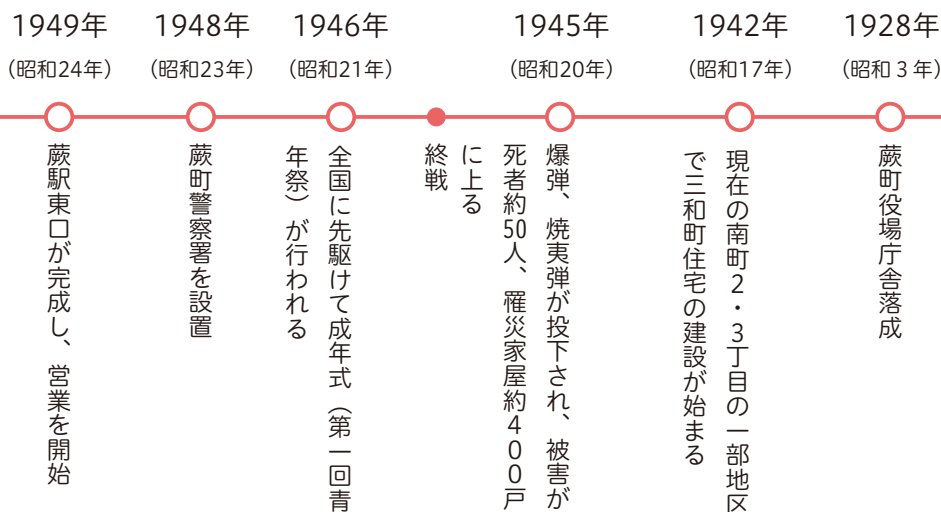
綿織物のまち蕨が急速に都市化していった昭和40年頃までを紹介します。



本陣跡から現在の市役所がある土地に移転・建替えられた蕨町役場



蕨第一国民学校（現北小学校）で開催された第一回青年祭



## 江

戸時代の終わりに昭和初期まで、蕨の主要な産業は綿織物業でした。昭和元年の蕨町の人口は7505人。現在の約10分の1にとどまり、今のように住宅が密集するまちではなく、町域の多くが田畑でした。その後、東京からほど近いことから、住宅地としての需要が高まり、住宅営団が現在の南町2・3丁目の一部に880戸という大規模な住宅団地・三和町住宅の建設を開始したのが昭和17年のこと。現在も特徴的な町並みに当時の名残が見られます。町に軍需工場が複数あったことから、太平洋戦争では県下で2番目に大きな空襲被害を受けました。終戦後、国中が虚脱感に陥るなか、蕨では次代を担う若者たちを勇気づけようと、蕨町青年団が中心となって昭和21年に「青年祭」を企画。

その中で行われた「成年式」が、全国で行われている成人式や「成人の日」の由来とされています。その後、戦後の復興は急ピッチに進みます。昭和26年には中央公民館が開館。また、機織りのまち蕨の歴史に由来し、商工業の発展を願う「機まつり」が始まったのもこの年のことで、今では蕨の夏の風物詩となっています。翌昭和27年には、市立病院の前身となる町立病院が開設されました。まちの復興、発展と並行して、人口も急激に増加。昭和34年には市制を施行し、蕨市が誕生します。この頃の人口は4万4496人まで増加していました。この急激な人口増加に対応した、上水道や都市ガスなど、生活の基盤となるインフラの整備が進められ、市の機能性が充実していきました。





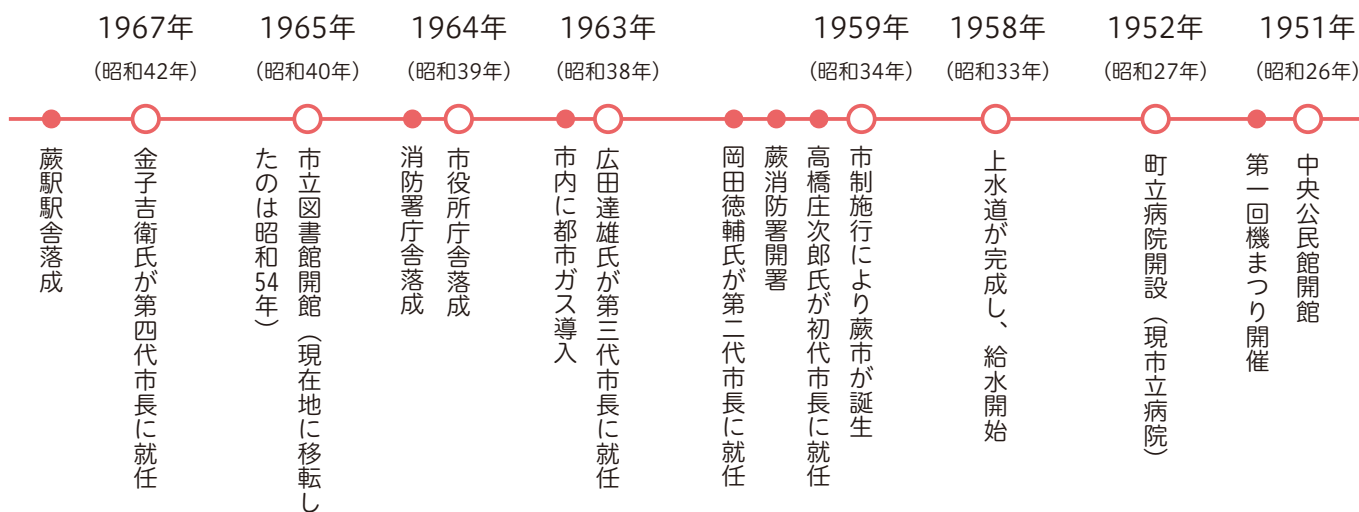
市役所の隣、旧水道庁舎の2階に開館した市立図書館（昭和40年～49年）



蔵高校講堂で行われた市制施行記念式典



蔵の夏の風物詩となった機まつり（写真は昭和30年の第五回機まつり）（写真は昭和30年の第五回機まつり）



## Interview

### 伝統ある成年式を誇りに



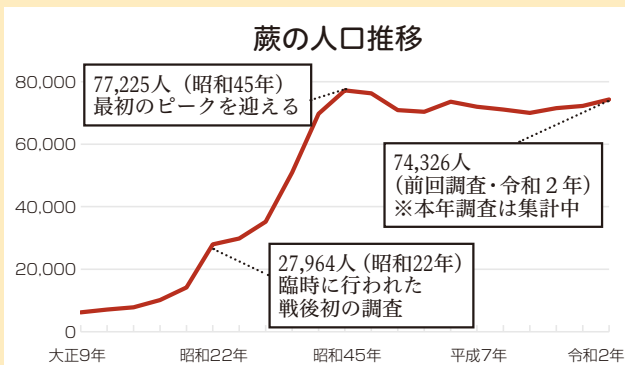
令和7年成年式実行委員長  
ふくだりき 福田力さん  
塚越5丁目

蔵と言えば「成人式発祥の地」。蔵のことを知らない友人にはそう紹介しています。伝統を守りつつ、時代に合わせた式を作り上げ、更に次の世代に引き継ぐ。今年1月の成年式では、そうした強い思いを持って開会宣言を行いました。緊張もしましたが、自分らしく20歳の節目を迎えることができたと思っています。蔵は小さいからこそ、まちの一員だという住民一人ひとりの意識が強いと思います。その強い結びつきのなか、青年団の温かな思いによって始まった成年式は今や全国的にも注目される蔵の誇りです。時代を超えて、これからも続いてほしいと思います。

### 統計で見る蔵の100年①

#### 蔵の人口の推移

大正9年(1920年)の第1回調査以来、国の最も基本的で重要な統計調査として5年ごとに行われる国勢調査を基に、蔵の人口をグラフにしました。第1回調査では蔵町の人口は6,204人。戦後、昭和40年代にかけて急増し、昭和45年調査では77,225人とピークを迎えます。その後は微減・安定傾向にありましたが、近年は増加に転じ、今年11月の住民基本台帳人口では77,218人となっています。



# 昭和から平成へ コミュニティと都市基盤の充実進む蕨

住みよいまちづくりと都市基盤の整備が進んだ平成の初期までを紹介します。



市民憲章推進運動の一環として駅前設置された市民憲章アーチ



完成直後の蕨駅西口駅前広場

1977年 (昭和52年)      1975年 (昭和50年)      1974年 (昭和49年)      1973年 (昭和48年)      1970年 (昭和45年)      1969年 (昭和44年)

南町ポンプ場通水

田中啓一氏が第五代市長に就任

蕨城址公園開園

アメリカ合衆国カリフォルニア州エルドラド郡と姉妹都市締結

市民会館落成

「蕨市コミュニティづくり推進条例」制定

蕨駅西口駅前広場完成

市民体育館落成

新都市計画法により全域市街化区域に指定

「蕨市市民憲章」制定・蕨市歌制定（市制施行10周年記念事業）

## 戦

後の復興を遂げた日本は、昭和30年代から40年代にかけて、高度経済成長期を迎えました。この時期、市民の暮らしが豊かになっていく一方で、急激な都市化や転入者の増加などが進み、地域社会のつながりの希薄化が懸念されることとなりました。

市は昭和44年、市制施行10周年を機に「蕨市市民憲章」を制定し、市民参加の住みよいまちづくり運動を開始。昭和49年には「蕨市コミュニティづくり推進条例」を制定し、住民の自主的な参加に基づく地域コミュニティの醸成と、活動の拠点となるコミュニティ・センターの整備を進めました。当時先進的であったこうした取組によって、蕨では地域活動や市民参加の取組が活発に行われることとなります。「コミュニティが豊かで住

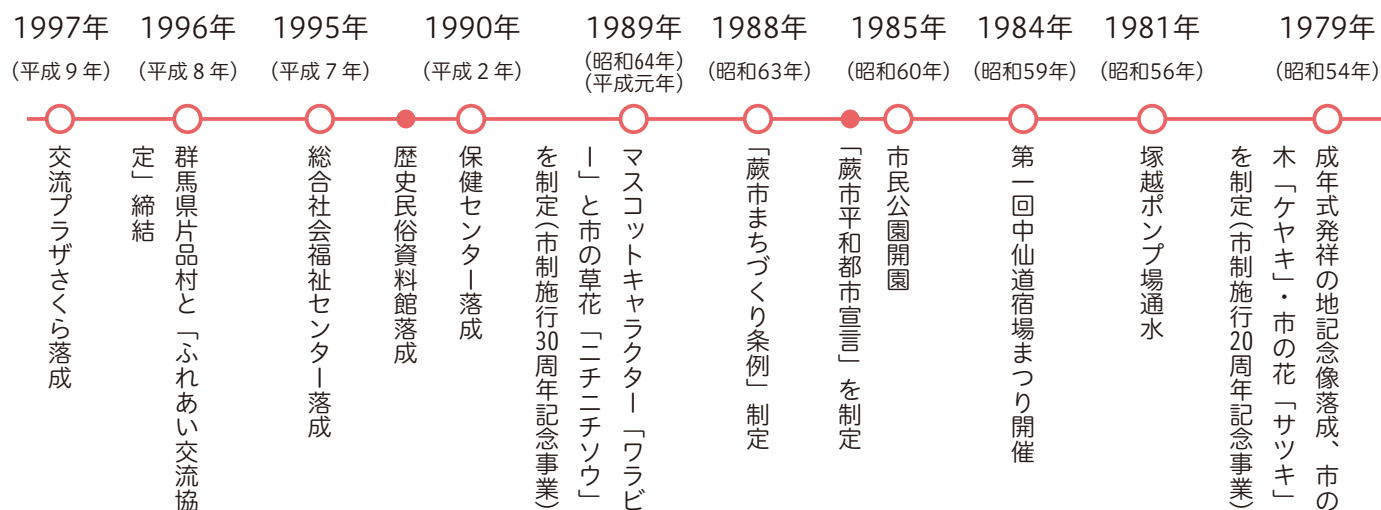
みよいまち」という蕨の大きな魅力は、この時期から長く培われてきたものです。

昭和48年には蕨駅西口土地区画整理事業が完了し、駅前広場が完成。昭和50年代には南町、塚越で下水道のポンプ場が通水を開始するなど、市は都市基盤の整備を更に進めると同時に、まちの歴史、文化といった地域の個性を生かすまちづくりを進めていきます。昭和63年には「蕨市まちづくり条例」を制定し、市民参加によるまちづくりを推進。また、この時期に中山道で始まった「宿場まつり」は、蕨の歴史や文化を今に伝える市民参加型の祭りとして、毎年多くの人でにぎわっています。平成元年には市制施行30周年を迎え、おなじみのマスコットキャラクター「ワラビー」も誕生しました。



市制施行30周年記念パレードでお披露目されたマスコットキャラクター「ワラビ」

市民公園の開園記念まつりには地元子ども会が手作りみこしで参加



## Interview

### 変わらぬ地域力の重要性



蕨市コミュニティ運営協議会会長  
あだち ともひろ さん  
足立 朋彦 さん  
南町1丁目

子ども会の役員を皮切りに地域活動に携わり、昨年度からコミュニティ運営協議会の会長を務めています。この間、地域では住民の世代交代が進み、また、障害のある人や外国人等、多様性への理解が課題になるなど、大きな変化がありました。蕨では市内のコミュニティが組織化されているため、そうした悩みを共有、相談できるのが強みですね。

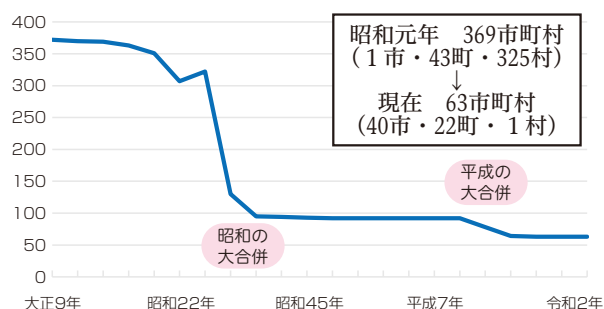
防災・防犯など、安全安心な暮らしには、多様な住民全体のつながりが必要だと考え、地元の南町コミュニティ委員会でユニバーサルデザインの研修なども実施。住む人みんなに優しいコミュニティの実現を目指しています。

## 統計で見る蕨の100年②

### 日本一のコンパクトシティ・蕨

蕨市は日本でいちばん小さく、人口密度の高い市です。その理由の一つは蕨町時代から一度も合併をしていないこと。昭和元年には県内に369の市町村がありましたが、昭和の大合併、平成の大合併の時代を経て、現在は63市町村です。過去には蕨でも検討されたことはありますが、合併せず今日に至っています。現在も日本一のコンパクトシティとして、住みよいまちづくりが進んでいます。

### 県内市町村数の推移





# そして21世紀へ 更に選ばれるまちとして発展が続く蕨

21世紀に入ってから現在までの蕨の歩みと未来への展望を紹介します。



蕨駅西口地区7番街区の再開発によって、公共公益施設設けるがオープン



市民の皆さんからの寄附もあり、蕨駅西口に平和宣言の宣言塔を設置

2011年  
(平成23年)

2010年 2009年 2008年 2007年  
(平成22年) (平成21年) (平成20年) (平成19年)

2002年  
(平成14年)

- コミュニティバス運行開始
- ドイツヘッセン州リンデン市と友好都市盟約締結
- 川口市・蕨市・鳩ヶ谷市合併協議会設立（平成16年解散）
- 頼高英雄氏が第六代市長に就任
- 子ども医療費無料化拡大（令和6年に高校生年代まで完全無料化）
- 市シンボルマーク制定（市制施行50周年記念事業）
- マスコットキャラクター「エンジエルわらわー」制定
- 蕨駅西口地区7番街区（第一工区）市街地再開発事業竣工、公共公益施設設ける落成
- 蕨市平和都市宣言塔設置
- わらびりんご公園開園
- わらびネットワークステーション開設

## 21

世紀に入り、日本はバブル

崩壊後の長引く経済の低迷に加え、東日本大震災等の地震や気候変動による災害が相次ぎ、国民生活や経済活動に大きな影響を及ぼしました。一方で、携帯電話やインターネットの普及によるIT化やグローバル化など、私たちの生活はより便利になるとともに、地方分権改革が進み、自治体自ら地域の課題を解決し、魅力あるまちづくりを進める取組がいつそう求められる時代となりました。

こうした変化の時代のなか、蕨は歴史や文化、コミュニティの豊かさや利便性の高さを併せ持つ強みを生かして、日本一のコンパクトシティを目指してまちづくりを進めてきました。全国的に深刻な少子化が進むなかでも、蕨市は県南でいち早い子ども医療費無料化

拡大や小学校の少人数学級の実施、保育園や児童保育室の大幅な増設など、安心して子育てができる環境を整備。また、防災対策では、

公共施設やライフラインの耐震化、民間事業者等との災害協定の締結などを進めるとともに、防犯対策も犯罪認知件数が平成15年のピーク時から約5分の1となるなど、充実してきました。このほかにも、音楽によるまちづくりや蕨ブランドなどのにぎわいあるまちづくり、介護予防や健康づくりなど、誰もが住みよいまちづくりを市民の皆さんと協働で進めています。

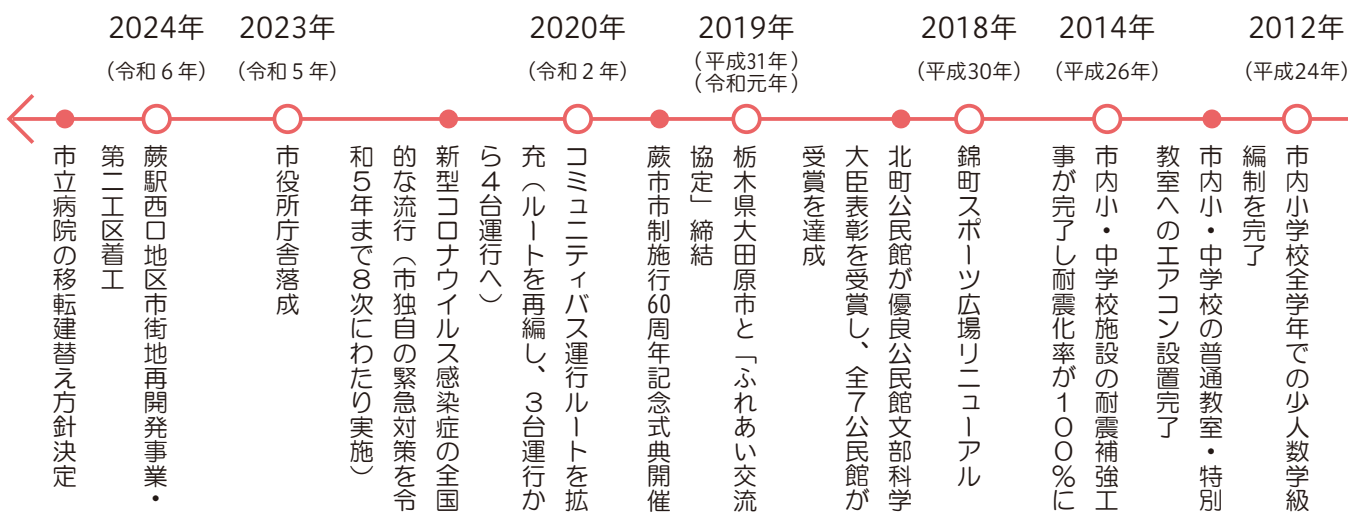
こうした取組によって、蕨は選ばれるまちとして発展し続け、本格的な少子高齢化・人口減少社会にあっても、市の年少人口は近年まで横ばいで、総人口は微増傾向が続いています（詳細左ページ）。





令和5年に市役所庁舎が完成。市民サービスや災害対応の拠点として生まれ変わりました

ぶらっとわらびは身近な交通手段として、400万人以上にご利用いただいています



## Interview



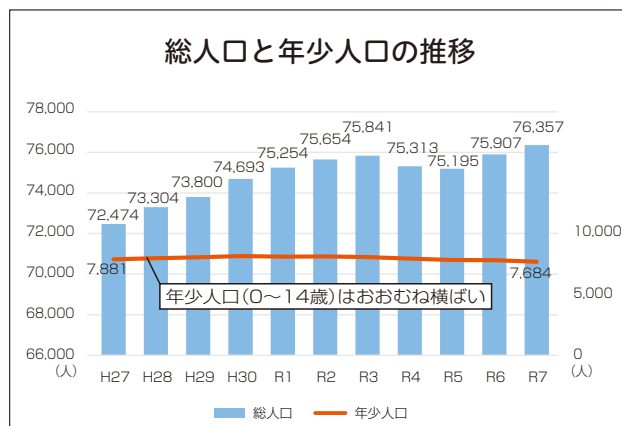
にしもり 莉歩さん  
西森 文都ちゃん  
中央4丁目

### 温かいつながりが続く蕨

私は蕨で生まれ育ちましたが、町会や子ども会のイベントで近所の皆さんに温かく見守られて育ってきたと実感しています。今では母親になり、2歳の息子を育てていると、いろいろな施設がグッとまとまっている蕨は、各地区の子育て講座などにも参加でき、子育てのしやすさを感じますね。これから新しい図書館や中山道沿いの交流拠点ができるので、ますます集まれる場所が増えるのが楽しみです。たくさんの人と関わって、息子には思いやりのある人になってほしいです。これから地域の皆さんと温かい交流が続くような蕨でいてくれるといいですね。

### 飛躍する蕨の明るい未来へ

このような蕨の発展には、市民の皆さんのまちへの愛着と高い地域力に支えられた100年の歩みがありました。そして、蕨は令和5年に市民サービスと災害対応の拠点となる市庁舎建替えを完了、令和9年の竣工に向け現在工事が進む蕨駅西口再開発、令和11年度の開院に向け設計を進める市立病院の移転建替え等、未来への飛躍に向けたまちづくりが進んでいます。市ではこれからも、市民に最も身近な地方自治体として、住みよいまちづくりを進めていきます。





蕨市・エルドラド郡



# 姉妹都市締結50周年



②



②



②



①



②

①市民公園内友好交流記念碑  
とエルドラド訪問団の皆さん  
②姉妹都市締結50周年記念式  
典・懇親会 ③宿場まつり・  
宿場道中大行列 ④東中学校  
の生徒が日本文化を英語で紹  
介 ⑤書道・茶道体験 ⑥さ  
よならパーティ

## 昭和50年に姉妹都市を締結



エルドラド郡プラサビル市より、マーナ・ハンセス女史が昭和49年に郡議会の姉妹都市締結申し入れの議決書を持って来蕨し、翌昭和50年に姉妹都市を締結。以降、訪米、訪日を重ね親交を深め、国際親善に力を注いできました。

**蕨**市とアメリカ合衆国カリフォルニア州エルドラド郡は姉妹都市として、ホームステイや青少年交流などの心の通い合う市民交流を続けてきました。今年で50周年の節目を迎えるにあたり、10月31日から8日間、エルドラド訪問団の皆さんが蕨を訪れ、記念式典や宿場まつりへの参加、日本文化の体験などを楽しみました。ここでは、その様子を写真でお伝えします。







ともに心豊かに生きる

# 多文化共生

時代の変化のなか、日本で暮らす外国人は全国的に増加しています。ここでは、言葉や文化の違いを越えた、誰もが住みよいまちづくりへの市の取組等を紹介します。

問い合わせ＝  
市民協働課  
(☎433・7745)



## 都

心に近く利便性の高い  
蕨市には、多くの外国人

人が暮らしています。日本人と外国人がともに暮らしやすい地域づくりを進めるため、

市は令和4年に「蕨市多文化

共生指針(詳細下枠)」を策定。

ごみ分別の多言語表記や日本語での会話が困難な児童生徒

への支援、外国人相談窓口の設置、多言語通訳機の導入など、さまざまな取組を進めています。また、昨年には日常生活に必要な市役所のサービスや日本の暮らしのマナーを多言語でまとめた「外国人生活ガイドブック」を作成。外国人転入者へ配布しています。

今月6日には文化の理解や多文化交流を図るため「みんなの広場」を開催(詳細下枠)。

外国人落語家による日本語落語やクリスマスカード作りが楽しめます。言葉や文化の違いを越えた交流ができますので、ぜひ、お越しください。

市はこれからも一人ひとりがお互いを尊重し、誰もが住みよい笑顔あふれるまちづくりへの取組を進めていきます。

外国人転入者へ配布しています。



## 多文化共生フェス みんなの広場

日時＝6日(土) 午後1時～3時

場所＝中央公民館(中央4-21-29)

内容＝

- ①みんなで触れよう！日本の文化落語／江戸落語では唯一の外国人落語家、三遊亭好青年さん(スウェーデン出身)が大人も子どもも楽しめる日本語落語を披露します！
- ②みんなで作ろう！クリスマスカード／クリスマスカードを作って、お茶やお菓子を食べながら交流します。みんなで楽しみましょう！

費用＝無料

※申し込みは不要。直接会場へ



三遊亭好青年さん／落語家。  
スウェーデン出身。五代目  
圓楽一門会所属



## point 多文化共生指針とは

・国籍や民族、文化などの違いにかかわらず、互いに認め合い、一人ひとりの人権が尊重され、協力し合いながら、心豊かな笑顔あふれる多文化共生のまちを目指す計画

・期間は令和4年度から8年度の5年間

詳細＝右記二次元コード



## Interview

自動車産業に興味があり、勉強のため昨年来日しました。みんなの広場は日本の文化を学べ、国際交流もできる良い機会だと思うので、国籍問わず多くの人に来てほしいです。



薬 聖函 さん  
(塚越在住。みんなの  
広場実行委員)





# 蕨市職員募集

日本一のコンパクトシティで  
ともに未来を開きませんか

令和8年4月1日採用予定！

1次試験 1月18日(日)

申し込み＝1月8日正午までに右記二次  
元コード内の電子申請フォームから  
詳細＝人事課（☎433・7746）または右記  
二次元コード



## 技術職

（土木・建築・電気・機械）

### 一般枠

対象＝18～40歳

### 1次試験免除枠

対象／有資格者  
土木・建築＝55歳以下  
電気・機械＝50歳以下

※技術職の採用日は4月1日を基本とし、応相談。

5人程度



## 技術職 職場見学会

期間＝25日まで

※実施日は希望者と担当職員間で日程調整。  
内容＝業務・試験内容等の紹介、職場・現場  
見学、職員とのフリートークなど  
申し込み＝18日までに右記二次元  
コード内の電子申請フォームから



## 事務職



対象＝18～25歳

5人程度

## 保育士



対象＝30歳以下

若干人

## 保健師



対象＝35歳以下

若干人

## 消防職



対象＝18～24歳

若干人



## 蕨市の採用試験の特徴

- ①公務員試験対策不要！（事務職・消防職）
- ②人物重視の試験内容！
- ③インターネットで簡単申し込み！
- ④コンパクトな試験日程！



蕨の「いま」を  
伝えます!!



皆さんの声を市政に生かします

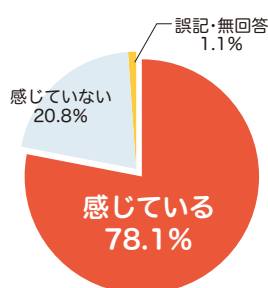
# 市民意識調査の結果まとまる

市では、市民の皆さんのまちづくりに対する意見・要望を把握し、市民と行政が一体となったまちづくりを推進していくため、18歳以上の市民を対象に、市民意識調査を毎年実施しています。ここでは、主な調査結果を紹介します。

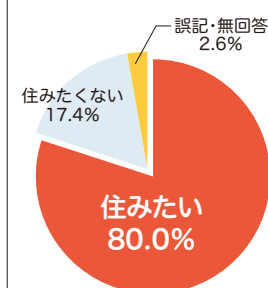
まちに愛着を感じる約8割  
暮らしやすさに高い評価

今回の調査対象は、18歳以上の市内在住者から無作為抽出した1000人。そのうち461人の回答があり、回収率は46・1%でした(下囲み)。それでは主な項目を見てみましょう。まず、「まちへの愛

まちへの愛着



定住意識



※今回より選択肢から「わからない」を削除

令和7年度市民意識調査

調査期間：8月1日～22日  
調査内容：  
◎まちへの愛着  
◎定住意識  
◎まちづくり（防災、子育て、健康づくりなど9分野）  
◎重点施策 など全22項目  
調査対象：市内在住の18歳以上の男女1,000人（無作為抽出）  
回収率：46.1%（461人）

着」を「感じている」と答えた人は78・1%と、約8割という高水準となりました。また、「定住意識」では、今後も蕨市に「住みたい」と答えた人が80・0%となり、「まちへの愛着」同様、高い評価が寄せられました(上グラフ)。いずれも理由は、「買い物や通勤、通学など生活に便利だから」が1位、「災害が少なく安全だから」が2位でした。これらの結果から、多くの人が蕨市に愛着や住みやすさを感じていることがうかがえます。

## 情報ダイヤル

掲載は無料で抽選です（前月未掲載の団体優先）。申し込み＝毎月1日～5日の平日に秘書広報課（☎433・7703）へ

※いただいた情報は、市ホームページにも掲載します。



### ●仲間になりませんか

- ▼蕨市水泳連盟水泳サークル  
月曜日 昼の部 午後1時半  
夜の部 午後7時半 ルネサンス蕨24（根岸・☎446・5022）
- ▼蕨市邦楽舞踊連盟（おはやし）  
月1回程度 旭町公民館 月2000円（花ノ本・☎090・3206・0706）
- ▼わらび寄席（落語会の運営）  
不定期 くるる（平塚・☎050・1809・8885）
- ▼千の会（日本舞踊） 第2・4金曜日 午前10時 東公民館（花柳・☎090・9826・3499）
- ▼蕨塚越サッカー 土・日曜日・祝日 東小学校か塚越小学校  
年長・小学生 月2500円（浦野・☎090・4139・1382）
- ▼ねこのみ（おしゃべり交流）  
月1回 正午 市内 500円（岩本・☎090・3431・4295）
- ▼健康体操クラブ 木曜日 午前10時 下蕨公民館 月2000円（柳元・☎442・8875）
- ▼北町囲碁クラブ 土曜日 午後0時半 北町公民館 無料（小林・☎431・3180）



今後の市政の  
重点施策  
37項目

## 上位の結果

重 要 度		満 足 度	
1位	防犯対策	1位	消防・救急体制
2位	消防・救急体制	2位	防災対策
3位	防災対策	3位	コミュニティバスなどの公共交通の充実
4位	上・下水道の整備、雨水対策	4位	高齢者支援
5位	地域における医療体制の充実と市立病院の充実	5位	健康（健幸）づくりの推進

防犯対策



▲皆さんの安全を見守るため、青色回転灯を付けたパトロールカーが夜間に巡回

防災対策



▲地域ぐるみでの防災対策を推進（写真は総合防災演習の負傷者搬送訓練）

消防・救急体制



▲蕨市の救急隊は、通報から平均約7分30秒で現場に到着（全国平均は約10分）

## 安全・安心の分野に対し 高い関心が集まる結果に

続いては、今後の市政の重点施策37項目について、「重要度」、「満足度」の両面からお聞きした結果です（上囲み）。

「重要度」は、1位が「防犯対策」、2位が「消防・救急体制」、3位が「防災対策」となり、昨年同様、安全・安心分野への関心が上位を占めました。「満足度」は、1位が「消防・救急体制」、2位が「防災対策」、3位が「コミュニティバスなどの公共交通の充実」となり、「消防・救急体制」と「防災対策」は、重要度に続いて満足度でも高い結果となりました。

## 防災意識と健康への関心 ともに約9割の高水準に

また、防災や健康づくりなど、「まちづくり」に関する9分野についても意見を伺いました。そのうち防災については、「災害に備えて何か準備をしているか」という設問に対し、「非常用の食料や保存水を用意している」など、約9割

の人が災害への備えをしていると回答しました。特に「トイレ処理セットなどを用意している」と答えた人は、昨年

から7・8ポイント上昇し約4割となり、災害時の生活環境を意識した備えの広がりが見られます。また、健康づくりについての設問に対し、「健康に気を付けている」、「ある程度は気を付けている」と答えた人は昨年から7・5ポイント増の約9割となり、皆さんの健康への関心の高さがうかがえます。加えて、週1日以上運動すると答えた人も6割を超え、運動習慣の定着も見られました。

## 皆さんの意見を生かして より暮らしやすいまちへ

市ではこうした結果を基に、今後も住み続けたいと思えるまちを目指し、各施策の充実を図っていきます。なお、調査結果は、市ホームページ等で御覧になれます。



問い合わせ〓政策課（☎433・7698）

▼蕨ラグビースクール 土曜日 午前9時 東小学校 小学生 月1000円（小林・☎y.kobanugby@gmail.com）

▼蕨北町サッカー 土・日曜日・祝日 北小学校 年中・小学生 月1500円・2000円（未就学児は年2000円）（小泉・☎090・4948・5936）

▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 蕨市出身プロ棋士による指導碁あり（不定期）（山本・☎432・4543）

▼蕨スポーツ吹矢クラブ 金曜日 午後1時 西公民館 月500円（武山・☎080・1359・3870）

## ●参加しませんか

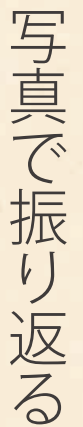
▼成人向けテニススクール 1月8日・3月26日 木曜日 全12回 午後7時15分 富士見テニスコート 初心者 先着20人 1万2000円（田代・☎070・6460・0193）

▼簡単ニヨッキ作り 18日（木） 午前10時半 西公民館 どなたでも 800円（小西・☎090・9206・7258）

▼南町太極拳クラブ無料体験会 5日・19日 毎週金曜日 午後1時 南公民館 どなたでも（小林・☎080・6221・3987）

▼蕨断酒会 12日（金）〓南公民館 18日（木）〓旭町公民館 1月6日（火）〓中央公民館 午後7時 お酒を止めたい人・家族の酒害でお困りの人（大住・☎090・2749・9640）



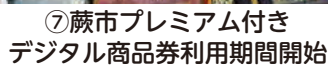


わらびこの一年



2025

12月を迎え、今年も残すところあと僅かとなりました。そこで16、17<sup>日</sup>では市政やイベントなど蕨のこの一年を写真とともに振り返ります。

[illegible]



A photograph of two young women in traditional Japanese kimonos. The woman on the left is wearing a white kimono with red floral patterns and a pink hair accessory. The woman on the right is wearing a blue and white patterned kimono. They are both holding small bowls and eating. In the background, there is a wooden structure with four circular lanterns, each containing a Japanese character (likely '祭' for festival). The scene is illuminated by warm lights, suggesting a night festival setting.

A photograph showing three students in traditional Japanese dance costumes (kimono and hakama) performing on a stage. They are in a synchronized pose with arms extended. The background features a banner that reads "生涯学習フェスティバル" (Career Learning Festival).

[illegible]



## 「けやき文化賞」に山舘氏

先月3日、市の文化功労者に贈られる、「けやき文化賞」の表彰式がくるで行われました。今年度の受賞者は音楽家でオペラ指揮者の山舘冬樹氏です。指揮者としての活躍のほか、蕨市音楽家協会の副会長やチェンバーオーケストラ蕨の音楽監督を務め、市民への音楽の普及にも貢献しています。



## まちの話題

ここでは11月上旬から11月中旬までの話題を紹介します  
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します



## 肉と音楽でまちを元気に

「肉と音楽」をテーマに、蕨の商工業の魅力発信を目的に毎年開催されている「わらんちゅフェスティバル」。今年は先月8日と9日に市民公園で開かれ、延べ3万5,000人が訪れました。52個の飲食店ブースが軒を連ねたほか、ステージ発表などが行われ、にぎわう会場には笑顔があふれていました。

## ともに歩んだ50年を祝う

先月11日、結婚50周年を迎えるご夫婦を祝う金婚祝式を市民会館で開催。記念写真を撮影した後に式典が行われ、招待者代表のご夫婦から謝辞が述べられました。その後、参加した16組は食事や懇談、大正琴の演奏などを楽しみながら、ともに過ごしたこれまでの日々を思いをはせていました。



## 「ハローわらび」12月の番組表

市からのお知らせ・地域の話題などをお送りします

放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

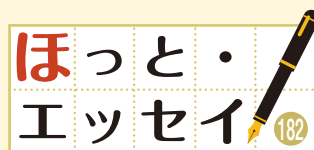
	11/28(金)～12/4(木)	5(金)～11(木)	12(金)～18(木)	19(金)～25(木)	26(金)～1/1(木・祝)
00	タウンタウン わらび健康まつり・ 歯ッピーわらび	市政ガイド わらび市政ほっとNews	タウンタウンワイド あひるの家 ミニ健康まつり	市政ガイド わらび市政ほっとNews	タウンタウンワイド 園芸品評会
05	乳幼児のための 応急手当と救急蘇生法	タウンタウン 蕨市・エルドラド郡姉妹 都市締結50周年記念式典	金婚祝式	タウンタウン さわっておぼえる スマホ教室	いきいき百歳体操まつり
10	蕨市政なう！	特集・ウィークリープラス	造形あそび クリスマス	蕨市政なう！	かんたんおいしい キッズごはん
15	仮設庁舎跡地に にぎわい交流拠点を整備！	三遊亭鬼丸独演会	蕨市総合防災演習	2025 映像で振り返る 蕨市政この1年	ウォーキングイベント 2025 in 蕨市民公園
20	探れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん	市政ガイド 市民意識調査結果が まとまる	市長の“ほっと訪問” 職人さん応援団 上田衣料(塚越2丁目)	探れたてスポット 年末年始のお知らせほか	特集・ウィークリープラス インタビュー ～2026年の抱負～
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD／放送終了後から貸し出します 無料 詳細・貸し出し場所＝秘書広報課 (☎433・7703)





蔵で生まれ、日本一早く実  
なる「わらびりんご」は、  
多くの市民に親しまれ、メデ  
イアでもたびたび紹介される  
蔵の大切な地域資源です。  
蔵市では、わらびりんごを  
使った商品開発にも力を入れ、  
わらびりんごサイダーやシャ  
ーベットに続き、昨年は、わ  
らびりんごようかんを発売し  
ましたが、すぐに完売となる  
大人気でした。  
そして、今年は、商品化第



## 商品化第4弾！ わらびりんごワイン発売

市長 頼高 英雄

### 市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木  
曜日。今月は4日です。  
ただし、1月は8日  
です。時間は午後1時～  
5時を予定しています。  
ご希望のかたは秘書  
広報課（☎433・7701）  
へご連絡を。

4弾となる「わらびりんご  
ワイン」を開発し、先月19日  
より販売開始しました。わら  
びりんご果汁100%で、少  
し甘めのおいしいワインとな  
っています。これら、わらび  
りんご関連商品は、市内の店  
舗で購入することができます  
ので、ぜひ、ご賞味いただけ  
ばと思います。  
来年は「わらびりんごジャ  
ム」の発売も予定していま  
すが、今後とも、わらびりん  
ごによる魅力あふれるまちづ  
くりを進めていきたいと思います。



### 訓練通じ高める防災意識

先月16日、中央小学校で「総合防災演習」  
が開催されました。市民の皆さんによる初  
期消火訓練や非常用応急給水栓設営訓練の  
ほか、消防隊員による高所救出搬送訓練、  
消防団員による一斉放水訓練などを実施。  
参加した937人は、災害時の対応などにつ  
いて熱心に学び、防災意識を高めていまし  
た。

あおば  
**碧芭ちゃん**（1歳6か月）  
さえき 彰さん  
あみ  
亜美さんの 長男  
中央5丁目



わ  
が家のアイドル

「好奇心旺盛で体を動か  
すのが大好きな碧芭。気  
になる遊具を見つけたとい  
ちもくさんに駆け寄って、夢  
中で遊んでいます。最近  
は自転車の後ろに乗るのが  
お気に入り。駐輪場にずら  
りと並んだ中から迷わず私  
の自転車を見つけ、ヘルメ  
ットをかぶって待つ姿がかわ  
いらしいです。これから  
いろんなことに興味を持  
って伸び伸びと成長してほ  
しいです」と母親の亜美さん。



親子  
触れ  
合う  
リース  
作り

先月12日、南町児童館で「造形あそび  
クリスマス」が開催されました。手遊びや  
読み聞かせを楽しんだ後、リース作りに挑  
戦。親子で触れ合いながら、紙粘土やビー  
ズで飾り付けをして、世界に一つだけのす  
てきなクリスマスリースが完成しました。



「加速していく感覚がたまらないんです」と長田さん

輝いてます

全国高等学校選抜自転車競技大会 進出

ひと

おさだ おうが  
長田 鳳雅 さん

努力を重ね全国の舞台へ

最

高速度が時速70キロに達するスピードのなか、一瞬の駆け引きが交錯する自転車競技。10月に行われた埼玉県新人大会で輝かしい成績を収めたのは、城北埼玉高校2年生の長田鳳雅さん（17歳・中央3丁目）です。個人ではロードレースで7位入賞、4人1組で走る団体追い抜きでは優勝し、個人・団体ともに全国高等学校選抜大会への切符をつかみました。中学まではサッカー一筋でしたが、「努力すれば高校からでも全国を狙える」と顧問から誘いを受け、新たな挑戦として自転車競技部へ入部。すぐにそのスピード感や駆け引きのおもしろさに魅了され、

負けず嫌いの性格もあいまって「もつと速く走りたい」と練習に打ち込んでいきました。週7日休みなく行う練習では、1日の走行距離が80キロにも及びます。日々の地道な走り込みで、リズムよくペダルを踏み続ける技術を習得。更に、厳しい練習に耐えられる体を作るため食事量を増やしたり、動画で研究を重ねたりなど、練習以外でも大会に向けた努力を続けてきました。そして迎えた新人大会のロードレース。山道を周回する険しいコースでしたが、持ち前のペダリングで先頭集団に食らいつきます。体力が限界に近づいたラスト1周、ペダルを踏むことだけに集中してスパートをかけ、一気に先頭に立つと、集団から2人を振り切る力走を見せます。ゴール前は激しい競り合いとなりましたが、攻めの姿勢を崩さず、7位入賞を果たしました。3月に控えた全国大会。更に厳しい戦いが予想されますが、「もつとスタミナをつけ、個人でも団体でも力強い走りを見せたい」と意気込みます。努力の日々を信じて、念願の舞台へ。若きレーサーの挑戦はまだ始まったばかりです。

今月の河鍋晩斎記念美術館

## 天才絵師の作品 蔵にあり

—No.115—

閻魔大王の前に、みずぼらしい姿の老人が引き出されています。現世の行いを映す浄瑠璃鏡に鶴飼いの場面が映し出されていることから、生前この老人は鶴匠であったことがわかります。殺生は大罪であるという仏教思想に基づけば、閻魔大王がこの老人に下す判決は、厳しいものになることが想像されます。老人にまわりついている鶴たちも、川に潜って鮎を呑み、鶴匠がそれを吐き出させるという鶴飼いの漁に協力していた罪に問われるのでしょうか。

河鍋晩斎記念美術館 開催中（22日まで）

企画展「画鬼晩斎 めくるめく妖怪画展」  
同時開催 特別展「『晩斎鈍画』の世界」展

開館＝午前10時～午後4時  
休館＝火・木曜日、24日～1月3日  
ところ＝南町4-36-4  
入館料＝一般600円 高校生・大学生500円  
小・中学生300円 65歳以上500円  
※学生は学生証、65歳以上の人は年齢の分かる物をご提示ください  
詳細＝同館（☎441・9780）



詳しい内容は館ホームページを御覧ください



晩斎筆  
「閻魔と鶴匠」  
絹本墨画彩色 軸装

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

yosai  
Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の晩翠も日本画家。



かわなべ きょうさい  
河鍋 晩斎  
天保2年（1831）  
～明治22年（1889）